



6月議会報告 その2

東日本大震災への一層の支援を! 災害に備えて地域コミュニティを育てよう

東日本大震災から3か月半経ちましたが震災の傷跡は大きく、原発事故においてはどこまで放射能汚染が広がるのか分からない状態です。建設環境委員会では、この3か月間の大垣市の支援状況について報告されましたのでお知らせします。

大垣市議会議員 笹田トヨ子

大垣市の人的支援 大垣市職員派遣人員総数68名

人的支援68名の内訳は下記の通りであります。

- (1) 保健センター：保健師派遣1名ずつ3回にわたり派遣・派遣地域・陸前高田市・釜石市
- (2) 水道課：水道給水車及び職員4名を派遣
派遣地域・宮城県山元町、仙台市
- (3) 下水道課：下水道施設調査の職員1名を派遣
派遣地域・塩竈市
- (4) 市民病院関係
 - ① DMAT（災害派遣医療チーム）・医師、看護師、臨床工学士、事務職各1名・・・仙台
 - ② 放射線技師派遣1名・・・福島県
 - ③ 医療救護班・医師2、看護師、薬剤師、事務職・・・宮城県亘理郡亘理町
 - ④ 医療救護班・医師、看護師、薬剤師、事務職・・・宮城県亘理郡亘理町
 - ⑤ 医療救護班・医師、看護師、薬剤師、事務職・・・宮城県亘理郡亘理町
 - ⑥ 看護師派遣1名・・・福島県郡山市

(5) 大垣消防組合：緊急消防援助隊第1次から第7次まで延べ42名の派遣と救助工作車・支援車…派遣先福島県消防学校

(6) 建築課：建築技術職員派遣予定・・・岩手県釜石市に9月と翌年の2月に1カ月程度。

大垣市の物的支援

- (1) 義援金合計 1億2360万4289円
(8月15日現在)
- (2) 市の備蓄資材等の搬送・・・コードリール100個、投光器50台、災害用携帯トイレ（寄付）トイレ用テントなど
- (3) 支援物資の受け入れ・搬送・・・市民から提供のあった支援物資 2753箱

避難者受入れ支援

市内避難者計 8世帯25名
市内避難者に対する総合相談窓口を4月25日から開設
(社会福祉課)

その他
水道水放射性物質の測定結果をホームページに掲載

大垣市社会福祉協議会で 災害ボランティアを受け付け

大垣市社会福祉協議会では、災害ボランティアを受け付けています。交通費や宿泊費として27,000円の自己負担をして現地支援にいきます。これまでに1団体と個人で89名の方が登録されています。また、岩手県大槌町の被災地支援のため、8月15日から「大垣市災害ボランティア隊」の募集を開始。7月25日から9月11日までの期間8回に分けてボランティア隊を派遣予定しています。

育てよう地域コミュニティ

東日本大震災に遭遇された方々は復興・復旧に向けて必死に努力されていますが、地域コミュニティの強弱で復興・復旧の速度に差が出ているように感じています。私は、大垣市においてボランティアのコーディネーターとなる人材はどれだけいるか質問しましたが、実態はわからず、災害時ボランティアのコーディネーターの養成が必要と感じます。また日ごろからの地域コミュニティづくり、そのための自治会活動の民主的な運営への配慮が大切であると思います。

共産党西濃地区委員会の取り組み・・・

